

### 環境目標3 脱炭素・循環型社会の推進

<b>事業概要</b>	脱炭素・循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの普及や温室効果ガスの排出抑制、気候変動の影響を低減するための適応策に取り組みます。また、ごみの減量や再資源化など3Rに対する意識啓発や環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を促進し、環境に配慮したまちづくりを進めます。
-------------	--

#### 【個別目標】3-1 クリーンなエネルギーをつくる

<b>実施施策</b>	3-1-1 再生可能エネルギーの普及促進 ■住宅用太陽光発電等設置の普及促進	担当課	環境推進課
<b>具体的な取組・事業</b>	既存住宅に対して太陽光発電システム、家庭用燃料電池、定置用リチウムイオン蓄電池の設置費用を補助することにより、再生可能エネルギー利用の普及促進と支援に努めます。		
<b>事業内容</b>	太陽光発電システム、家庭用燃料電池、定置用リチウムイオン蓄電池及び雨水貯留槽の設置について広報等で普及啓発するとともに、設置に係る費用の一部を補助します。		

#### 実施結果(指標)

環境指標名	26	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
住宅用太陽光パネル設置補助延べ件数	目標		1,013件	1,035件	1,058件	1,080件
	実績		1,015件	1,040件		

#### 分析・展開

<b>判定</b>	<b>A</b>	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
<b>実績評価</b> (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 目標の補助件数は達成し、補助制度が市民に十分活用され、クリーンエネルギー導入の一助となっています。				
<b>今後の展開</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も、補助制度を継続し、再生可能エネルギー利用の普及促進に努めます。				

#### 【個別目標】3-1 クリーンなエネルギーをつくる

<b>実施施策</b>	3-1-2 公共施設への再生可能エネルギーの導入促進 ■公共施設の太陽光発電等の導入	担当課	施設所管課 (取りまとめ:環境推進課)
<b>具体的な取組・事業</b>	公共施設における太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入と電力の施設内利用を進めます。		
<b>事業内容</b>	公共施設での太陽光発電システムの運用及び公共施設の屋根貸しでクリーンエネルギーの普及啓発を行います。		

#### 実施結果(指標)

環境指標名	27	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
公共施設の太陽光発電の導入数	目標		15箇所	15箇所	15箇所	15箇所
	実績		15箇所	15箇所		

#### 分析・展開

<b>判定</b>	<b>A</b>	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
<b>実績評価</b> (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 継続して公共施設での太陽光発電システムの運用ができました。				
<b>今後の展開</b>	<input type="checkbox"/> 現状通り推進 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後は、公共施設へのさらなる再生可能エネルギーの導入についての検討、実施に努めます。				

【個別目標】3-1 クリーンなエネルギーをつくる

実施施策	3-1-2 公共施設への再生可能エネルギーの導入促進 ■公共施設の太陽光発電等の導入	担当課	水道施設課
具体的な取組・事業	安定した流量・圧力で流入する県水を活用して発電用水車を回転させ発電を推進します。		
事業内容	安定した流量・圧力で流入する県水を活用して発電用水車を回転させ発電を行います。発電した電力は、共同事業者が再生可能エネルギーとして電力会社に売電します。		

実施結果(指標)

環境指標名	28	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
小水力発電量(年)	目標		467,000kwh	467,000kwh	467,000kwh	467,000kwh
	実績		469,086kwh	467,442kwh		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 設備の停止が生じた場合には、迅速な復旧が必要である。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止) ) 目標としては良いが、昨今の落雷の影響により、今後の目標には懸念がある。				

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-1 環境に配慮した行動の推進 ■エコライフ・省エネルギーの普及・促進	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	脱炭素社会の実現に向け、国が取り組んでいる「COOL CHOICE」や県の「エコライフDAY」の参加等の周知啓発を図るなど、市民、事業者の省エネ・省資源行動の普及促進に努めます。		
事業内容	地球温暖化対策防止に係る啓発(ホームページ・広報等)及び、職員に対し県の「エコライフDAY」等を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	29	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
エコライフDAY チェックシート回収率	目標		100%	100%	100%	100%
	実績		94.1%	91.3%		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 年2回全職員を対象にエコライフDAY・WEEKを実施し、エコへの意識づけをすることができましたが、結果が昨年を下回るものとなりました。				
今後の展開	<input type="checkbox"/> 現状通り推進 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止) ) 目標の回収率の100%を目指し、職員への周知・啓発をまいります。また、市民等に対し省エネ・省資源行動の普及に努めます。				

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-1 環境に配慮した行動の推進 ■エコライフ・省エネルギーの普及・促進	担当課	開発建築課
具体的な取組・事業	耐久性や耐震性が高く、省エネルギー性能に優れた長く住み続けられる優良な住宅の建設を促進するため、長期優良住宅の普及・啓発に努めます。低炭素のための措置を講じられた建築物の建設を促進するため、低炭素建築物の普及・啓発に努めます。建築物のエネルギー消費性能の向上を図るため、建築物エネルギー消費性能基準に適合する住宅の認定の普及・啓発に努めます。		
事業内容	開発物件等に対して事業者へ周知するほか、住宅建築相談窓口の設置、パンフレットの配布及びホームページの掲載を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	30	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
長期優良住宅、 低炭素建築物、 建築物省エネ住宅の 認定数(年)	目標		(長)52件 (低)6件 (省)1件	(長)52件 (低)6件 (省)1件	(長)56件 (低)8件 (省)1件	(長)56件 (低)8件 (省)1件
	実績		(長)56件 (低)12件 (省)2件	(長)43件 (低)1件 (省)0件		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている
実績評価 (目標達成までの 進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 目標値を超えませんでした、あくまで申請に基づく認定となるため、継続した制度の周知啓発が必要です。	
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止) ) エネルギーの消費性能に優れた、長期優良住宅や、低炭素建築物、建築物エネルギー消費性能に適合する建築物が普及していくよう、引き続き制度の周知啓発に努めます。	

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-1 環境に配慮した行動の推進 ■地球温暖化対策実行計画の推進	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	市の事務事業から排出する温室効果ガスを削減するため「朝霞市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、省エネ・省資源対策を推進し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。		
事業内容	実行計画(事務事業編)の運用マニュアルを策定し、職員への温室効果ガス削減の取組行動を推進します。		

実施結果(指標)

環境指標名	31	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
市事務事業の二酸化炭素(CO2)排出量の削減率	目標		△9.0%	△3.1%	2.8%	8.6%
	実績		4.5%	12.08%		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている
実績評価 (目標達成までの 進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 CO2削減率は、昨年に引き続き、目標が達成できました。令和7年度末までの中間目標も上回ることもできました。	
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止) ) 市事務事業となりますので、引き続きCO2削減に向けてまいります。	

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-2 水の有効利用 ■節水の啓発	担当課	上下水道総務課
具体的な取組・事業	節水と水の有効利用に関する普及啓発を進め、節水意識の向上を推進します。		
事業内容	広報紙や懸垂幕による啓発の他、朝霞市民まつり「彩夏祭」において水道事業パネル展を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	32	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
水道使用量(年)	目標		1,595万m <sup>3</sup>	1,602万m <sup>3</sup>	1,609万m <sup>3</sup>	1,610万m <sup>3</sup>
	実績		1,520万m <sup>3</sup>	1,529万m <sup>3</sup>		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 広報誌や懸垂幕での節水の啓発により目標の水道使用量を達成することができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き広報誌や懸垂幕等での啓発を推進します。				

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-2 水の有効利用 ■節水の啓発	担当課	上下水道総務課
具体的な取組・事業	節水と水の有効利用に関する普及啓発を進め、節水意識の向上を推進します。		
事業内容	広報紙や懸垂幕による啓発の他、朝霞市民まつり「彩夏祭」において水道事業パネル展を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	33	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
1人1日当たりの水道使用量	目標		302ℓ	302ℓ	302ℓ	303ℓ
	実績		289ℓ	287ℓ		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 広報誌や懸垂幕での節水の啓発により目標の水道使用量を達成することができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き広報誌や懸垂幕等での啓発を推進します。				

【個別目標】3-2 省エネルギー・省資源をすすめる

実施施策	3-2-2 水の有効利用 ■雨水の利用	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	雨水の再利用ができる雨水貯留槽の設置費用に対して補助することにより、水資源の有効利用の普及と支援に努めます。		
事業内容	雨水貯留槽の設置について広報等で普及啓発するとともに、設置費用に係る費用の一部を補助します。		

実施結果(指標)

環境指標名	34	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
雨水貯留槽設置費 補助延べ件数	目標		28件	31件	33件	35件
	実績		28件	29件		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの 進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 令和5年度の補助申請が1件のみの増加であったため、目標の31件になりませんでした。				
今後の展開	<input type="checkbox"/> 現状通り推進 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	補助件数を増やすため、さらなる制度の周知を図ります。				

【個別目標】3-3 地球に負荷の少ないまちをつくる

実施施策	3-3-1 環境に配慮した移動手段の推進 ■次世代自動車の普及促進	担当課	財産管理課
具体的な取組・事業	公用車に対して、省エネ性能が高く環境への負荷が少ない次世代自動車の導入を進めます。		
事業内容	次世代自動車(ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車)の導入を進めます。		

実施結果(指標)

環境指標名	35	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
公用車の次世代自 動車の導入	目標		0台	5台	3台	5台
	実績		0台	2台		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの 進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 目標達成に向けて順調に進めることができた。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も引き続き次世代自動車の導入を続ける。				

【個別目標】3-3 地球に負荷の少ないまちをつくる

実施施策	3-3-1 環境に配慮した移手段の推進 ■次世代自動車の普及促進	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	電気自動車用急速充電器の設置や利用促進を啓発することにより、電気自動車の普及を推進します。		
事業内容	急速充電器の維持管理を行うとともにホームページ等で利用の促進を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	36	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
電気自動車用急速充電器の利用件数(年)	目標		800件	1,000件	1,000件	1,000件
	実績		1,072件	1,727件		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 市役所に電気自動車用急速充電器が24時間利用できることが認識され、利用実績の増加につながりました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	継続して電気自動車用急速充電器の運用、利用促進の啓発に努めます。				

【個別目標】3-3 地球に負荷の少ないまちをつくる

実施施策	3-3-2 コンパクトで利便性の高い生活環境整備 ■広域交通ネットワーク形成	担当課	まちづくり推進課
具体的な取組・事業	公共交通空白地区を改善し、市内の面的な公共交通ネットワークの形成など、市民や交通事業者等と一体となって「守り、支え、育てる」持続可能な公共交通の構築に努めます。		
事業内容	路線バスが運行していない地区を補完するため、市内循環バスを運行するとともに、公共交通空白地区の改善については、新たな公共交通の導入に向け、地域組織と協働して検討していきます。		

実施結果(指標)

環境指標名	37	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
市内循環バス利用者数(年)	目標		341,000人	347,000人	353,000人	359,000人
	実績		379,307人	386,520人		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 市内循環バス利用者については、令和5年7月に運賃改定を実施したものの、前年度よりも2%程度利用者数が増加した。また、公共交通空白地区の改善については、地域組織と協働し、1か月間の無償運行を実施した。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、持続可能な地域公共交通を構築するため、市内循環バスの運行を継続するほか、公共交通空白地区の改善等、各種施策を推進する。				

【個別目標】3-4 資源を大切に、繰り返し使う

実施施策	3-4-1 廃棄物の排出抑制の推進 ■3Rの推進	担当課	資源リサイクル課
具体的な取組・事業	市、市民・市民団体、事業者の協働により、3R(Reduce(リデュース):ごみを減らす、Reuse(リユース):再使用する、Recycle(リサイクル):再生利用する)の活動を推進します。		
事業内容	3R活動普及に向け、広報やホームページ等により啓発を行います。地域リサイクル活動推進補助金事業を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	38	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
市民1人当たり1日 のごみ排出量	目標		483g	476g	469g	462g
	実績		558g	532g		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> ごみの減量化に向けた各種啓発事業の実施や分別冊子・チラシの配布、ポスター掲示等を行い啓発に努めたが、目標達成には至らなかった。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も目標達成につながる事業実施の方法等を模索しながら、ごみの適正な分別・排出に向けた啓発を行い、ごみの減量化を目指す。				

【個別目標】3-4 資源を大切に、繰り返し使う

実施施策	3-4-1 廃棄物の排出抑制の推進 ■事業者に対する適正排出・適正処理の指導	担当課	資源リサイクル課
具体的な取組・事業	適正な分別による再資源化の推進や適正な排出方法について指導・啓発を強化します。		
事業内容	事業ごみの減量化、資源化を図るため、事業系ごみ削減キャンペーンの実施や、ホームページへの掲載、事業用パンフレットの配布により、事業者への意識啓発を図るほか、大規模事業者の実地検査を行い、ごみの減量・再資源化を推進します。		

実施結果(指標)

環境指標名	39	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
事業ごみの年間排出量	目標		6,804t	6,804t	6,804t	6,804t
	実績		7,372t	7,241t		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 広報あさか、市ホームページへ事業ごみの削減、再資源化に関する情報の掲載や事業所から出るごみの出し方を掲載したパンフレットを作成し、10月の事業ごみ削減キャンペーン時に市内事業者へ配布。また、大規模事業所への立入検査、適正に排出されていない事業所への指導を実施したが目標達成には至らなかった。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も目標達成につながる啓発事業の実施や事業所への指導強化を図り、事業ごみの減量化を目指す。				

【個別目標】3-4 資源を大切に、繰り返し使う

実施施策	3-4-2 資源化の推進 ■地域リサイクル団体活動の推進	担当課	資源リサイクル課
具体的な取組・事業	ごみの減量化・再資源化を進めていくために、市民や市民団体等の協力のもと、地域リサイクル活動(集団資源回収等)などを推進します。		
事業内容	回収量に応じて補助金を交付し、市民の方々による自主的な地域環境保全活動を援助します。制度の利用促進及び活動団体募集のための啓発活動を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	40	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
ごみの再生利用率	目標		37.3%	37.6%	37.9%	38.2%
	実績		30.9%	31.7%		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 補助金交付団体数は前年度より増加したが、登録団体数、資源回収量は減少した。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	資源回収量を増やすためには登録団体数、交付団体数の増加が効果的であるため、引き続き啓発等に努める。				

【個別目標】3-4 資源を大切に、繰り返し使う

実施施策	3-4-3 廃棄物の適正処理の推進 ■適正処理の推進	担当課	資源リサイクル課
具体的な取組・事業	一般廃棄物処理基本計画に基づき、廃棄物の排出抑制、資源化、収集・運搬を進めます。また、社会情勢の変化等があった場合、必要に応じて計画を見直します。 市民、事業者等に対しごみの減量・分別についての啓発活動に努めます。		
事業内容	ごみの出し方等を掲載した啓発冊子やパンフレット、啓発品を作成し配布します。 ごみ分別キャンペーンを行い、適正な廃棄物排出方法を啓発します。 ごみ集積所及び資源物持ち去り防止監視パトロールを実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	41	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
ごみ焼却処理量(年)	目標		23,000t	23,000t	22,000t	22,000t
	実績		27,103t	26,508t		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉 職員によるパトロールや分別が不適正な集積所周辺には外国人向けも含めた分別冊子やチラシ等の配布、各種啓発事業を実施したが、目標達成には至らなかった。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も目標達成につながる事業実施の方法等を模索しながら、ごみの適正な分別・排出に向けた啓発を行い、ごみの減量化を目指す。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■自然災害分野	担当課	施設所管課 (取りまとめ:環境推進課)
具体的な取組・事業	浸水被害軽減のため、一定規模以上の開発行為に対し、雨水貯留浸透施設の設置を義務付け、雨水流出抑制を推進します。		
事業内容	既存の雨水貯留浸透施設を維持管理し、雨水流出抑制を推進するとともに、溝沼地内に調整池を築造しています。		

実施結果(指標)

環境指標名	42	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
公共施設等雨水貯留浸透施設設置箇所数	目標		12箇所	13箇所	14箇所	15箇所
	実績		12箇所	12箇所		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 公共施設等の雨水貯留浸透施設を適切に維持管理することができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後も継続して適切な維持管理に努めていきます。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■自然災害分野	担当課	下水道施設課
具体的な取組・事業	下水道の排水能力を上回る局地的な豪雨が多発するとともに、下水道施設の老朽化が進んでいることから、計画的に更新事業を進めます。		
事業内容	雨水管の整備を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	43	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
雨水管整備率	目標		94.7%	94.7%	94.8%	94.9%
	実績		94.6%	93.5%		

分析・展開

判定	B	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 現在、重点対策地区である溝沼地区を対象に雨水対策として、令和3年度から調整池の整備を進めており、令和7年度までに、ポンプ施設や雨水管の整備を行っていく。 なお、雨水管整備率が減少しているのは、あずま南地区土地区画整理事業に伴い、区画整理区域を事業計画に編入したことによる。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、溝沼地区の雨水対策を進めていく。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■自然災害分野	担当課	下水道施設課
具体的な取組・事業	浸水被害軽減のため、一定規模以上の開発行為に対し、雨水貯留浸透施設の設置を義務付け、雨水流出抑制を推進します。		
事業内容	開発行為が行われる際に、雨水浸透ますの設置や雨水貯留槽・浸透トレンチの設置の指導を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	44	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
開発事業件数に対する雨水流出抑制施設設置割合(再掲)	目標		100%	100%	100%	100%
	実績		100%	100%		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 開発行為の申請の際に、雨水浸透枳の設置や雨水貯留槽・浸透トレンチの設置を指導したことにより、雨水流出抑制施設の設置を進めることができた。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、開発行為を行うものに対し、雨水流出抑制施設の設置を指導し、設置を進めていく。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■健康分野	担当課	健康づくり課
具体的な取組・事業	暑さ指数(WBGT)等の気象情報を提供するとともに、クールオアシスの設置等を進め、熱中症の注意喚起や予防に努めます。		
事業内容	広報あさか、市ホームページや朝霞駅前電光掲示板で熱中症に関する注意喚起を行います。また、埼玉県に熱中症警戒アラートが発令された際には、所管施設へ情報提供を行うほか、ホームページ、X(旧:ツイッター)、フェイスブックや防災行政無線により注意喚起を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	45	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
熱中症警戒アラートの発令に伴う情報発信(注意喚起)	目標		100%	100%	100%	100%
	実績		100%	100%		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> ホームページで注意喚起を行ったほか、「熱中症対策期間」と位置づけている6月から9月までの4か月間は各種対策を実施しました。また、令和5年度は熱中症警戒アラートが計25回発令され、全てにおいて情報提供等の注意喚起を実施することができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き注意喚起を行うとともに、随時ホームページで熱中症に関する最新情報を提供していきます。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■市民生活・都市生活分野(ヒートアイランド対策等)	担当課	施設所管課 (取りまとめ:環境推進課)
具体的な取組・事業	屋上緑化、壁面緑化、緑のカーテンの設置等、緑が持つ多面的な機能を生かして、都市のヒートアイランド化の抑制と都市気候の緩和を図ります。		
事業内容	ヒートアイランド対策として、市の施設において屋上緑化に取組みます。		

実施結果(指標)

環境指標名	46	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
公共施設の屋上緑化箇所数	目標		14箇所	14箇所	14箇所	14箇所
	実績		13箇所	14箇所		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 屋上緑化を適正に維持管理することができました。また、公共施設の利用者からも大変好評であり、景観向上を図ることができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、適正な維持管理に努め、緑化を推進していきます。				

【個別目標】3-5 気候の変化に備える

実施施策	3-5-2 気候変動への適応策の推進 ■市民生活・都市生活分野(ヒートアイランド対策等)	担当課	施設所管課 (取りまとめ:環境推進課)
具体的な取組・事業	屋上緑化、壁面緑化、緑のカーテンの設置等、緑が持つ多面的な機能を生かして、都市のヒートアイランド化の抑制と都市気候の緩和を図ります。		
事業内容	ヒートアイランド対策として、市の施設において壁面緑化に取組みます。		

実施結果(指標)

環境指標名	47	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
公共施設の壁面緑化箇所数	目標		26箇所	26箇所	26箇所	26箇所
	実績		22箇所	23箇所		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 休止していた壁面緑化を再開した施設があったため、令和4年度より1箇所増えましたが、新たに導入する公共施設がなかったため、目標を達成することはできませんでした。例年実施している公共施設では前年度と変わらず既存の壁面緑化を適正に維持管理することができました。				
今後の展開	<input type="checkbox"/> 現状通り推進 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	今後は目標達成に向けて、公共施設における壁面緑化導入促進の啓発に努めます。				

## 環境目標4 パートナーシップによる環境活動の推進

<b>事業概要</b>	環境を学ぶ機会を増やすとともに、環境情報の発信を通して、市民の環境意識の向上を図ります。市、市民・市民団体、事業者と協働した環境パートナーシップによる環境保全活動や活動団体の育成を行い、環境教育・環境学習の普及啓発を推進していきます。
-------------	---

### 【個別目標】4-1 環境についてみんなで学ぶ

<b>実施施策</b>	4-1-1 環境教育や環境学習の機会の提供 ■環境教育や環境学習の機会の提供	担当課	環境推進課
<b>具体的な取組・事業</b>	広報等を通じて環境に関する普及・啓発を行うとともに、年次報告書「朝霞の環境」を作成し、朝霞市や市をとりまく環境問題への理解を深め、その周知と啓発に努めます。		
<b>事業内容</b>	年次報告書「朝霞の環境」及び「第3次朝霞市環境基本計画 実施計画」を作成し、閲覧用に公共施設等に配布するほか、広報をはじめホームページ・X(旧:ツイッター)を活用し周知啓発に努めます。		

#### 実施結果(指標)

環境指標名	48	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
環境政策に係る報告書の発行	目標		2種類	2種類	2種類	2種類
	実績		2種類	2種類		

#### 分析・展開

<b>判定</b>	<b>A</b>	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
<b>実績評価</b> (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉				
	計画どおり「朝霞の環境」及び「実施計画書」を作成し、「朝霞の環境」については、図書館・北朝霞分館、各公民館、市政情報コーナー等30箇所に配布したほか、ホームページ等に掲載し、環境情報の発信と啓発に努めました。				
<b>今後の展開</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、「朝霞の環境」及び「実施計画書」を作成するとともに、ホームページ等で市民に向けて情報発信を行い、環境学習の推進を図ります。				

### 【個別目標】4-1 環境についてみんなで学ぶ

<b>実施施策</b>	4-1-1 環境教育や環境学習の機会の提供 ■環境教育や環境学習の機会の提供	担当課	環境推進課
<b>具体的な取組・事業</b>	市内の小学生を対象とした環境美化ポスターの募集を通して、子どもたちの環境美化への関心を高めます。		
<b>事業内容</b>	小学校3年生、6年生を対象に夏休みの宿題として環境美化ポスターを募集し、環境についての学習機会を提供します。		

#### 実施結果(指標)

環境指標名	49	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
環境美化ポスター応募者数	目標		200人	200人	200人	200人
	実績		229人	251人		

#### 分析・展開

<b>判定</b>	<b>A</b>	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
<b>実績評価</b> (目標達成までの進捗状況)	〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉				
	前年を上回る251人(3年生149点、6年生102点)の応募があり、目標を達成することができました。入選作品については、市民の目に届くように広報紙に掲載したほか、市内公共施設に展示し、環境美化の啓発に取り組むことができました。また、入選作品を啓発看板にして市内(朝霞駅、北朝霞・朝霞台駅周辺、黒目川各橋、ドッグラン)に設置し、市民の環境美化意識の向上を図りました。				
<b>今後の展開</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、小学生の夏休みの宿題として環境美化ポスターを募集することで、子供たちの環境への意識向上に取り組めます。				

【個別目標】4-1 環境についてみんなで学ぶ

実施施策	4-1-2 環境情報の発信と普及啓発 ■環境情報の収集と発信	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	環境に関する学びやイベント等の情報収集を行い、広報等での周知に努めます。		
事業内容	広報あさかをはじめX(旧:ツイッター)、ホームページなどを活用し、環境に関する情報発信を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	50	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
環境関連情報の発信(年)	目標		30回	30回	30回	30回
	実績		245回	191回		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 6月の環境月間中にX(旧:ツイッター)を毎日投稿したほか、ホームページ等も定期的に更新をし、市民に向けて環境情報の発信をすることができました。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	引き続き、広報、ホームページ、X(旧:ツイッター)を利用して環境情報の発信に取り組んでいきます。				

【個別目標】4-1 環境についてみんなで学ぶ

実施施策	4-1-2 環境情報の発信と普及啓発 ■環境情報の収集と発信	担当課	資源リサイクル課
具体的な取組・事業	リサイクルプラザでの環境学習の普及、朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会との連携の充実・支援を行います。		
事業内容	朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と連携し、3R推進等に関する講座を実施します。		

実施結果(指標)

環境指標名	51	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
リサイクルプラザでの講座参加者数(年)	目標		150人	150人	150人	150人
	実績		45人	89人		

分析・展開

判定	C	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの進捗状況)	<説明:指標の進捗状況及び改善等> 「リサイクルプラザ企画運営協議会」が企画・実施する講座について、講座の内容やPR等の有効な手法について、市と協議し実施しましたが目標達成には至りませんでした。				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	ごみの減量や環境情報の発信ため、多くの市民の方に参加していただくよう講座内容の充実を図り、目標の達成に向けて取り組んでいきます。				

【個別目標】4-2 環境活動にみんなで参加し行動する

実施施策	4-2-1 市民団体の環境保全活動支援 ■環境に関する有識者等の活用	担当課	環境推進課
具体的な取組・事業	環境団体や環境に関する有識者等を活用して、学校や地域、家庭や職場での環境学習を推進します。また、自然観察や体験学習、環境保全活動を支援する人材の育成と活動支援に努めます。		
事業内容	環境に関する講座等を開催するとともに、市民団体等の活動支援としてイベント等の情報発信を行います。		

実施結果(指標)

環境指標名	52	年度	各年度目標			令和7(2025)年度 中間目標値
			令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	
環境講座の開催数 (年)	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		1回	2回		

分析・展開

判定	A	A 極めて順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 大幅に遅れている			
実績評価 (目標達成までの 進捗状況)	<p>〈説明:指標の進捗状況及び改善等〉</p> <p>9月30日のペット同行避難訓練では、公益社団法人埼玉県獣医師会南支部の獣医師による災害時のペットに係る助言や相談をいただきました。2月には環境科学国際センターから講師をお呼びし、地球温暖化について、気候変動問題の実態と影響と対策について講演をいただきました。</p> <p>また、8月に開催された黒目川川まつりでは、当日職員が参加して水質調査の実施を支援した他、広報掲載やX(旧ツイッター)による啓発や、翌日のゴミ回収を行いました。</p>				
今後の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り推進 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他(廃止)				
	環境団体等と連携して、市民に向けてより環境に関する講座の機会を提供できるよう努めます。				

## ○第3次環境基本計画における環境指標一覧

### 1 自然と人との共生

実施施策	No	環境指標名	単位	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和13年度 (2031年度)
1-1 生き物が すめる環境を大切 にする	1-1-1	1	開発事案件数に対する雨水流出抑制施設設置割合	%	100	100
	1-1-2	2	特別緑地保全地区数	箇所	5	5
	1-1-3	3	生物多様性市民懇談会の開催回数(年)	回	0*	1
1-2 みどり豊かなまち をまもりそだてる	1-2-1	4	市内全域における緑被面積の割合	%	36.1	37.0
	1-2-1	5	保護地区面積	ha	9	9
	1-2-1	6	保護樹木本数	本	91	91
	1-2-1	7	都市公園数	箇所	41	44
	1-2-1	8	1人当たりの公園面積 (公園面積/人口)	m <sup>2</sup>	2.12	3.60
	1-2-2	9	市民農園利用区画数	区画	515	450
	1-2-2	10	農業体験参加人数	人	0*	1,500
	1-2-2	11	生産緑地地区指定数(年)	箇所	2	2
	1-2-3	12	公園・緑地管理ボランティア団体数	団体	21	30
	1-2-3	13	道路美化活動団体数	団体	25	27
	1-2-3	14	生け垣等の設置延長(累計)	m	536	550
	1-2-4	15	景観計画の届出件数(年)	件	170	170
	1-2-4	16	景観の満足度	%	49.9 (令和元年度)	55

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### 2 快適な生活環境の確保

実施施策	No	環境指標名	単位	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和13年度 (2031年度)
2-1 きれいな 空気をまもる	2-1-1	17	大気調査結果(市内平均・二酸化窒素基準0.06ppm)	ppm	0.06以下	0.06以下
	2-1-1	18	典型7公害苦情受付件数(年)	件	10	6
	2-1-1	19	空間放射線量測定回数 (市役所・年)	回	48	48
2-2 きれいな 水と土をまもる	2-2-1	20	河川水質調査結果 (黒目川・BOD基準値5mg/l)	mg/l	0.7	0.7
	2-2-1	21	污水管整備率(下水道事業認可区域面積)	%	97.8	98.1
	2-2-2	22	地下水の水質調査環境基準適合率	%	97.6	100.0
2-3 快適で住み良い まちをつくる	2-3-3	23	不法投棄物処理件数(年)	件	487	400
	2-3-3	24	きれいなまちづくり運動のごみ回収量	t	26*	60
	2-3-3	25	放置自転車等の撤去回数(年)	回	25	25

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため春は中止

### 3 脱炭素・循環型社会の推進

実施施策	No	環境指標名	単位	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和13年度 (2031年度)	
3-1 クリーンな エネルギーをつくる	3-1-1	26	住宅用太陽光パネル設置補助延べ件数	件	976	1,080	1,200
	3-1-2	27	公共施設の太陽光発電の導入数	箇所	15	公共施設の新設や検討委員会等で決定した大規模改修などに合わせ導入を進める	
	3-1-2	28	小水力発電量(年)	kWh	467,000	467,000	467,000
3-2 省エネルギー・ 省資源をすすめる	3-2-1	29	エコライフDAYチェックシート回収率	%	94.4	100	100
	3-2-1	30	長期優良住宅、低炭素建築物、建築物省エネ住宅の認定数(年)	件	(長) 58 (低) 6 (省) 0	(長) 56 (低) 8 (省) 1	(長) 56 (低) 8 (省) 1
	3-2-1	31	市事務事業の二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量の削減率	%	1.68	第4次朝霞市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の削減率	
	3-2-2	32	水道使用量(年)	万m <sup>3</sup>	1,587	1,610	1,625
	3-2-2	33	1人1日当たりの水道使用量	l	303	303	303
	3-2-2	34	雨水貯留槽設置費補助延べ件数	件	22	35	50
3-3 地球に負荷の少ない まちをつくる	3-3-1	35	公用車の次世代自動車の導入	台	4	5	5
	3-3-1	36	電気自動車用急速充電器の利用件数(年)	件	62	350	700
	3-3-2	37	市内循環バス利用者数(年)	人	291,774	346,000	382,000
3-4 資源を大切に、 繰り返し使う	3-4-1	38	市民1人当たり1日のごみ排出量	g	592	462	399
	3-4-1	39	事業ごみの年間排出量	t	6,815	6,804	6,804
	3-4-2	40	ごみの再生利用率	%	33.3	38.2	40.5
	3-4-3	41	ごみ焼却処理量(年)	t	26,826	22,000	20,500
3-5 気候の変化に備える	3-5-2	42	公共施設等雨水貯留浸透施設設置箇所数	箇所	12	15	16
	3-5-2	43	雨水管整備率	%	94.6	94.9	95.2
	3-5-2	44	開発事業件数に対する雨水流出抑制施設設置割合(再掲)	%	100	100	100
	3-5-2	45	熱中症警戒アラートの発令に伴う情報発信(注意喚起)	%	100	100	100
	3-5-2	46	公共施設の屋上緑化箇所数	箇所	14	14	14
	3-5-2	47	公共施設の壁面緑化箇所数	箇所	26	26	26

### 4 パートナーシップによる環境活動の推進

実施施策	No	環境指標名	単位	現状値 令和2年度 (2020年度)	中間目標値 令和7年度 (2025年度)	目標値 令和13年度 (2031年度)	
4-1 環境について みんなで学ぶ	4-1-1	48	環境政策に係る報告書の発行	種類	2	2	2
	4-1-1	49	環境美化ポスター応募者数	人	0*	200	220
	4-1-2	50	環境関連情報の発信(年)	回	28	30	31
	4-1-2	51	リサイクルプラザでの講座参加者数(年)	人	21	150	150
4-2 環境活動にみんなで 参加し行動する	4-2-1	52	環境講座の開催数(年)	回	0*	2	3

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



©むさしのフロントあさか

**第3次朝霞市環境基本計画 実施計画（令和5年度実績版）**

**【令和4年度～令和7年度】**

**みんなでつくる 水とみどりが豊かな 環境にやさしいまち 朝霞**

令和6年10月発行

朝霞市 市民環境部 環境推進課

〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号

電話 048-463-1504（直通）

URL <http://www.city.asaka.lg.jp/>

資料編水質調査に掲載（102Pのあと）

## OPFOS・PFOA検査について

有機フッ素化合物（PFAS・ピーファス）の代表的な物質であるPFOS（ピーフォス）及びPFOA（ピーフォア）の水質検査について、河川は、埼玉県において、黒目川（1地点）、新河岸川（志木市と和光市内各1地点）で実施しており、埼玉県のホームページで公表しております。

採取地点			令和5年度	令和4年度	令和3年度
河川名	地点名	所在地			
黒目川	東橋	朝霞市	18ng/L	17ng/L	17ng/L
新河岸川	笹目橋	和光市 板橋区	10ng/L	25ng/L	17ng/L
新河岸川	いろは橋	志木市	22ng/L	24ng/L	23ng/L

※埼玉県ホームページより抜粋

また、水道事業では、令和2年度から年1回、8月に水道管の末端となる公園の給水栓2か所で実施しており、国が定める暫定目標値を下回っています。

## 【PFOS及びPFOA検査結果】

採取地点		令和5年度	令和4年度	令和3年度
地点名	住所	8月17日	8月15日	8月16日
宮戸児童遊園地	宮戸3丁目	5ng/L未満 (検出限界未満)	5ng/L未満 (検出限界未満)	
やつじ公園	宮戸3丁目			5ng/L未満 (検出限界未満)
やつるぎ児童遊園地	上内間木	5ng/L未満 (検出限界未満)	5ng/L未満 (検出限界未満)	5ng/L未満 (検出限界未満)

※国の暫定目標値：PFOS・PFOAの合算値で50ng/L以下

暫定目標は、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2ℓ飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないものとして国が設定した基準です。

## 用語解説に追加

### ・ゆうきふっそかごうぶつ有機フッ素化合物 (PFAS)

有機フッ素化合物とは、炭素とフッ素の結合を持つ有機化合物であり、その総称をPFAS（ピーファス）と呼びます。有機フッ素化合物には非常に多くの種類があり、代表的なものとして、PFOS（ピーフォス）及びPFOA（ピーフォア）があります。

### ・ピーフォス PFOS ・ ピーフォア PFOA

PFOS（ピーフォス）及びPFOA（ピーフォア）は、有機フッ素化合物（PFAS・ピーファス）の代表的な物資です。

PFOSの主な用途として、半導体工業、金属メッキ、フォトマスク（半導体、液晶ディスプレイ）、写真工業、泡消火薬剤となっています。

PFOAの主な用途として、繊維、衣料、電子基板、自動車、食品包装紙、石材、フローリング、皮革、防護服となっています。